

## 第1回高知県教育振興基本計画検討委員会 教育長挨拶

おはようございます。県教育長の田村でございます。第1回高知県教育振興基本計画検討委員会の開催にあたりまして、ひと言ご挨拶を申し上げたいと思います。

まず、委員の皆さまにおかれましては、大変ご多用の中、また師走を迎えまして何かと慌ただしい中、本会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、この度は委員への就任をご承認いただきまして誠にありがとうございます。併せまして、日ごろから本県の教育の振興のために、それぞれのお立場から格段のご支援、ご協力をたまわっておりますことを、この場を借りてお礼申し上げたいと思います。

この会は、その名前にありますとおり、高知県教育振興基本計画、これについてのご検討をお願いする会でございます。現行の計画は、平成21年9月に策定いたしました。その後、24年度からは、より具体的な内容を盛り込んだ重点プランを策定いたしまして、本年度までを目標にして、子どもたちの知・徳・体にそれぞれ育成の目標を掲げて取り組んでまいったところがございます。この間、知におきましては、全国学力・学習状況調査におきまして、小学校の学力が、取り組みの当初、全国から格段に遅れておったところを、今年度の結果では全国上位まで向上しておりますし、体の面におきましても、全国から大きく遅れておりましたが、ほぼ全国に近づいてきたというような成果も出てきております。一方で、徳の面でございますが、暴力や不登校の問題は本当に厳しい状況が依然として続いておりますし、最近大きな問題になっておりますいじめの問題につきましても、依然として発生しているというような状況でございます。

また、中学校の学力につきましては、一定の向上はしているものの、まだまだ十分ではないと考えているところでございます。この間、教育現場の先生方、あるいは教育関係者が頑張った結果で、大きな成果も出ている一方、まだまだ課題の多い状況にあると思っております。また、昨年のOECDの調査結果などにより、我が国の教員の多忙といったことが大きくクローズアップをされているというような状況もございます。

こうした中で、この4月から地教行法の改正によりまして、首長と教育委員会が教育の基本的な方向性等を話し合います総合教育会議が設置されておまして、その中の大きなテーマとして、教育施策の基本方向に関する大綱を策定するということがございます。既に5回、本県でも総合教育会議を開催しておまして、先日の11月20日には大綱の骨子の案についても協議を行ったところでございます。

このように、教育施策の基本方向についての大綱についての協議が、知事と教育委員会とで進められていますので、教育振興基本計画についても、このことを踏まえて見直しをしていくことが求められるということで、この会を開催させていただいたということでございます。

会の内容でございますけれども、本県の教育に関する全体的な理念ですとか方向性と併せまして、今大綱の骨子として示されている内容を踏まえた上で、それに肉付けをしていくということをお願いしたいと思っております。

今回を含めまして2月下旬までの3回協議をしていただきたいと思いますので、何卒忌憚のないご意見を賜りまして、これからの本県の教育振興に資する素晴らしい計画となりますようお願いいたします。簡単でございますけれども、私からの開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いたします。